

# 各事業所で実施している活動プログラムの目的・具体的内容

児童デイサービス ちばな (児童発達支援)

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性

項目	活動プログラムのねらい	具体的な支援内容	5領域の分類
1 公園遊び	・走る・登る・飛ぶ 等からだを使った遊びを行う。 ・順番待ちや鬼ごっこなどルールや約束事を守る事を経験してもらう。 ・公共施設でのトイレに入れるようになる	・遊具を見たり、職員からの話を聞いて遊び方や危険な事を理解する。 ・自分の遊びたい遊具を示す方法をする。(指さし等) ・順番をまったり等ルールを理解しやすいよう声掛けを行う。 ・公共施設のトイレの使用に慣れるよう声掛けする。	①健康・生活 ②認知・行動 ⑤人間関係・社会性
2 水遊び	・体を動かし水の感覚を楽しんでもらう ・おもちゃを使用してお友達との交流を増やし、集団活動に参加する。 ・水遊びをする際のルールを守り危険な事を理解する。	・水に対する恐怖心を緩和できるようシャワーや水鉄砲を用いて少しずつ慣れてもらう。 ・他児と水遊び用の玩具の貸し借りの際は、発語やジェスチャーを交えて伝えられるようにサポートする。 ・水周りでは走ったら危険な事や水の中に顔を入れると苦しくなり危険な事等、事前説明やその都度声掛けを行い理解してもらう。	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
3 ボールゲーム	・投げる・取るの動きや、感覚遊びを感じてもらう。 ・ボール遊びを行う中で他児との関わり方を知る。(ボールを投げる強さ・顔に投げない等のルール)	・ボールを投げる・取る・よけるなどの体を動かす動作の支援。 ・遊びの中のルールの意識付けを行う。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
4 スライム遊び	・色や大きさ、材料を変えてどんな違いがあるか知る。 ・スライムの感触を指先や手のひらで感じ刺激を楽しむ。	・スライムを作る工程から入り、混ぜる作業や色が染まる工程を感じてもらう。 ・スライムの感触が苦手な子ども活動に参加しやすいよう配慮する。(作る工程のみ・ビニールに入れて感覚遊び等)	②運動・感覚 ③認知・行動
5 大縄跳び	・リズムよくジャンプし身体を動かしてもらう。 ・他児と一緒に飛ぶことで掛け声や集団での達成感を感じてもらう。	・真上にリズムよく飛べるよう目印をつけ、着地の際も両足着地など体の体幹を意識してもらう。 ・数人で飛ぶことで他者を意識してもらう。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
6 駄菓子屋さんへ行こう	・欲しい物への指差しジェスチャーや、言葉にて他者に伝えられる機会を作る。 ・買い物を行う手順の理解・練習。 ・欲しい物に対し買えない場合の気持ちの切り替えの練習。	・職員と一緒に物の価格を確認し買い物の経験をする。 ・思い通りにならない場面への切り替えの練習。 ・レジでの順番待ちや、「お願いします」「ありがとうございます」など社会的なルール・挨拶などを理解してもらう。	①健康・生活 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
7 シャボン玉	・シャボン玉の動きや、色の色彩を楽しむ。 ・ストローを用いて息の強弱を意識してもらう。	・息を強く吹いたり、優しく吹いたり吹きかけの事を意識し発語などに繋がるよう訓練する。	①健康・生活 ②運動・感覚
8 砂遊び	・感覚遊び、ごっこ遊び、道具を使つての遊び、創作力をはぐくむ。	・道具を使って創作する事の遊びや、ごっこ遊び等を通して想像力の成長や他児を交えながら社会性コミュニケーションをサポートする。	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
9 パワーアップワーク	・指先の訓練や、座る、鉛筆を握る、書くなど就学や身辺自立に向け必要な力を育む	・各々の課題に個別で関り、本人のペースに合わせてプログラムを準備する。	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動
10 クッキング	・自ら作ったおやつで食べ物のおいしさを学び、関心を持ち食べる楽しさを経験する。	・作る工程(切る、混ぜる 等)を経験してもらい食事のおいしさ、楽しさを感じてもらい、食育のきっかけになるよう支援する。 ・他児も一緒に交えながら役割分担などを行い、他者と達成感を共有できる機会を支援する。	①健康・生活 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
11 言葉遊びをしよう	・音や言葉への興味、関心を深める。 ・言葉に親しみながら正しい発音を知る。 ・音韻に対する意識を身に着けたり、語彙の幅を広げる。	・オノマトペや手遊び歌を楽しむ。 ・集団で言葉集めやしりとりを行い、知らなかった言葉を知る楽しさを感じてもらう。	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
12 宝探しパズルをしよう	・考える力を養う ・他児と協力する	・チームに分かれて行う。パズルのピースがある場所をいくつかヒントとして提示し、見つけたピースを合わせてパズルを完成させる。	③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
13 靴下履き競争	・自分の靴下を把握する。 ・自分で着用できるよう練習を行う。	・自分で靴下を履く機会を多く作り、成功体験を増やす。 ・介助を求める児童や、不慣れな児童には職員が側に付き持つ場所や正しい位置を伝え自力で履ける様促す。	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動
14 ぶら下がり運動	・手指の使い方を意識する。 ・腕や手の力で自分の体重を支えられる様力を入れられるようになる。	・ぶら下がる際、親指の分離が出来ているかの確認を行う。 ・段階として、揺れや移動などを入れながら児童の全身運動を行う。 ・腕や手の力が抜けた際に補助に入れるように職員が児童の後ろに付く。(転倒防止)	②運動・感覚
15 廃材工作	・イメージを膨らませて色々な形、大きさの廃材の中から選び創作する。 ・児童同士で、お友達の意見交換や、自分の作品についての発表の場を作る。	・イメージを形にできるように何を作りたか確認しながら、どのような形、大きさの廃材を使えばいいか本人と一緒に考えアドバイスをを行う。 ・ハサミやテープを使う際は、職員が側に付き補助を行う。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
16 玉入れ	・ボールを投げる力加減や箱に入れるコントロールを身に着ける。 ・ルールの理解をする。 ・お友達と協力することができる。	・箱を高く設置したり、職員が箱を持って動いたりして力加減やコントロールを習得できるよう促す。 ・時間制限を設けたりなどルールを作り理解を促す。 ・チーム対抗で行うなどお友達と協力してできる場面を作る。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
17 O×クイズ	・正しいもの、間違いなものが分かるようになり、ルールや遊びを通して理解力を得る。	・写真を見たり、職員が発する事をしっかり聞き正しいものや間違いなものを理解する。 ・お友達と協力しながら問題を解く場面を作り協調性等を育む。	③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
18 顔じゃんけん遊び	・顔全体の筋肉を使うことで、表情が豊かになり発声の効果にも繋げることができる。	・顔全体の筋肉を上手に使えるように職員がお手本などを見せまねっこをしてもらい顔の動きを意識してもらう。 ・ルールを理解して遊びを楽しむ。	①健康・生活 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
19 間違い探しをしよう	・観察力や忍耐力を育てる。 ・目を使った運動を行う。 ・色や形の認識、認知を鍛える。	・イラストを見比べながら異なる場所を見つける。 ・3～5個を目安に集中力に合わせて間違いの場所を調整する。 ・慣れ始めたときにお友達とグループを作り協力する場面を作る。	③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
20 ティッシュキャッチ	・臨機応変に体を動かす運動遊びにより、バランス感覚・瞬発力を育てる。	・うちわなどでティッシュを飛ばし手でキャッチできるように促す。 ・不規則に動くティッシュを目で追う様、意識してもらう。 ・スムーズに出来る児童には枚数を増やしたり、指でのキャッチを促したりレベルの調整を行う。	②運動・感覚 ③認知・行動